

## 基本施策H1 市民が主役のまちづくりを進めます

主管課:自治振興課

### 個別施策

- H1-1 地域コミュニティの活性化を促進します
- H1-2 市民活動団体への支援の充実を図ります

### ア 施策の目的

市民が、それぞれの役割を果たしながら、連携してまちづくりを進めている

### イ 基本施策の評価

D c 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

### ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	
地域活動や市民活動 への参加意向割合	82.8% (26年度)	↑	目標値	84.8	85.8	86.8	87.8	88.8
		実績値	78.7	83.8	84.6	82.4		
		達成率	92.8%	97.7%	97.5%	93.8%		
自治会加入率	70.3% (27年度)	↑	目標値	70.4	70.5	70.6	70.7	70.8
		実績値	68.7	69.6	69.4	68.7		
		達成率	97.6%	98.7%	98.3%	97.2%		

### エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

### オ 審議会における政策評価に関する意見

- 地域を地域の人が自主的に守るような形になることが理想であり、その取組みが地域コミュニティのしくみづくりであると考えている。しかし、現実的には地域ごとに様々な問題があり、なかなか進まないのが現状ではないか。逆に地域コミュニティ連絡協議会の取組みが進んでいるところは、自治会の加入率が上がっているのではないかと思うので、そういう数字を出すと地域コミュニティの取組みを進めることの意味がわかるのではないか。

### カ 審議会における施策推進に向けた提案

- 地域のつながりが弱まる原因をつくっているのは、逆に市役所なのではないか。広報ながさきは誰でも受け取ることができ、長崎市の情報はパソコンなどで手に入るなど、自治会の加入メリットがなくなっている。また、これまでは地域の課題は自治会

を通していたが、近年は個人の力が強くなり、個人で市役所へ申入れして対処がなされている。自治会の役割等も考えながら、対処方法も検討していただきたい。

- マンション建設を許可する段階で、地域と話をしてもらうようにするなど行政の横串をきちんと刺していただきたい。
- 地域コミュニティ連絡協議会について、長崎市の自治活動の根幹につながる取組みだと思うので、調整は難しいと思うが、相互にうまく活かして進めていただきたい。まだ情報開示が十分ではないと思う。
- 自治会加入の促進にあたっては、ホームページの中に自治会加入者専用ページをつくるなどメリットをつくるというのではないか。
- コロナの時代における自治会のあり方を打ち出していきたい。危機管理の面からも自治会活動の指針が必要なのではないか。
- 長崎のまちづくりをどのように進めるのか、大きなくくりを示していただきたい。
- まちづくりの成功事例を共有するというのではないか。
- ランタナには駐車場がないので民間の駐車場を利用しているが駐車料金が安い。ランタナのコピーサービスを利用しても、駐車場料金がかかるので結果的に近所のコンビニでコピーした方が安いという現状である。東部、南部、北部に設置した総合事務所にもランタナの機能を持たせることはできないか。
- ランタナ利用者は周辺駐車場の料金を最初の30分間無料にするような、利便性が向上するしくみは検討できないか。
- ランタナの認知度が向上してないのではないか。地域のまちづくりにランタナを活用できるということをPRしていただきたい。
- ランタナというネーミングについて、いろんな経緯があると思うがネーミングがわかりにくいのではないか。
- 地域コミュニティ連絡協議会について、地域ごとに「地域医療」と連携できないかという流れがあるようである。うまく育てば地域が自立したすばらしい自治活動ができると思う。例えば、後期高齢者の運転免許の更新の際の認知症検査などを自治会や協議会で実施してはどうか。最初から大きな目標を掲げて取り組むのは難しいので、連携のもと徐々に進めるといいのではないか。
- 市民が主役のまちづくりには時間がかかる。しっかり腰を据えて取り組んでいただきたい。

キ 次期総合計画の策定に向けた意見

なし